

Tab

取扱説明書

診断レポート作成編

はじめに

ご使用前に

この度は、G-SCAN をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書には、診断レポート作成アプリを使用するにあたって必要な情報が記載されています。

診断レポート作成の際には「G-SCAN Z Tab」で診断した自己診断データが必要となりますので事前にご準備をお願いいたします。

本アプリをご使用前に本書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

株式会社インターサポート

診断レポート作成アプリの使用条件


1. 診断レポートの印刷を行う場合は、お客様のご利用されているプリンターのドライバーのインストールが必要です。
2. 最新のアップデートをするにはインターネットへの接続が必要です。
3. 診断データを読み込む際には G-SCAN Z TAB で診断した自己診断データが必要です。

【自己診断データの準備方法】

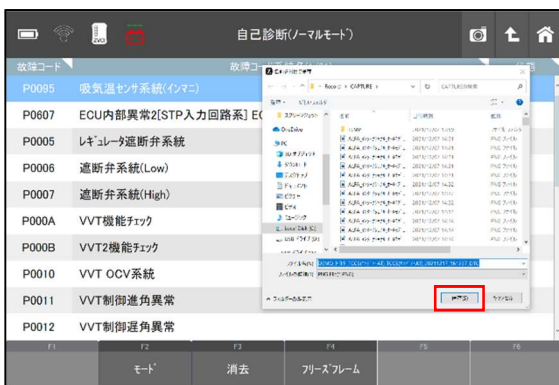


①車両診断後、自己診断を選択します。



②自己診断の画面で  を選択し、データを保存します。

※保存するファイル名は変更しないでください。
変更をすると診断レポート作成ができません。



アプリの起動

スタート画面またはデスクトップのアイコン「診断レポート作成」を選択します。

各画面の機能説明

メイン画面

本画面で診断レポートの作成が行えます。

①	ヘルプ	このマニュアルを起動します
②	設定	ユーザー情報を設定します。
③	終了	アプリケーションを終了します。
④	車両情報クリア	現在入力中の車両情報をクリアします。
⑤	診断結果クリア	現在読込中の診断結果をクリアします。
⑥	診断データ読込	自己診断データの読み込みを行います。
⑦	作成データ読込	保存していた診断レポートデータの読み込みを行います。
⑧	車検証 QR コード読取	車検証の QR コードを読取るためのカメラが起動します。
⑨	保存	現在の診断レポートデータを保存します。
⑩	印刷	現在の診断レポートデータを印刷します。

設定画面

お客様の会社情報、担当者の設定が行えます。
ここで設定した情報は、診断レポートに表示されます。

設定



会社名
株式会社インターサポート

住所
茨城県水戸市城南 1 丁目1-6-39

担当者
デモ

電話番号
029-303-8021

保存 キャンセル

印刷プレビュー画面



①	印刷	プリンターを選択して印刷をします。
②	PDF 保存	PDF に保存します。 ※補助金申請用に PDF を提出される方はこちらから保存をお願い致します。
③	閉じる	印刷プレビューを閉じます

診断レポート作成方法

1. 診断データ読込

※診断レポートを作成する際は、G-SCAN Z Tab で保存した自己診断データが必要です。



①メイン画面の **診断データ読込** を選択します。
選択するとファイル選択ダイアログが表示されます。



②該当する診断ファイルを選択し、「開く」を押します。



③選択した診断ファイルから読み取った診断データが画面内の「診断結果」に表示されます。

2. 車両情報の入力

車両情報は任意でのご入力が可能です。

また、車検証の QR コードを読み取ることで自動的に反映することも可能です。

※型式に排ガス規制識別番号が反映されない場合があります。その場合は手入力で追加を行ってください。

以下では車検証の QR コードを読み取りする方法を記載しています。

診断レポート作成 Ver1.0.0

車両情報

車両番号	車台番号	初度登録
メーカー	型式	車検満了日
車名	エンジン型式	

診断結果

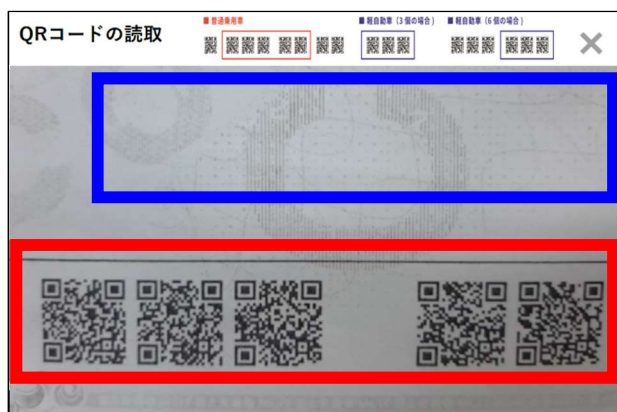
システム: TCSS 診断日: 2021/11/08

故障コード	系統名
P2138	空気触媒システム
P2455	ディーゼル圧力センサーシステム(High)/DPF圧力センサーシステム(High)
U0101	ECT ECU通信異常またはECT通信途絶
P00AF	VN3-ボルトアップシステム異常
P00B4	ディーゼル水温センサーシステム(High)
P0102	エアフローセンサー(Low)

診断データ読込 作成データ読込 車検証QRコード読取 保存 印刷

①メイン画面の **車検証QRコード読取** を選択します。
選択すると QR コードを読み取るためのカメラアプリが起動します。

※
型式で排ガス規制識別番号が反映されない場合あり。
例:5BA-M900A(排ガス規制識別番号+メーカー記号)
上記のように手入力で追加を行ってください。



②普通自動車は赤枠内、軽自動車は青枠内に QR コードを合わせて読取を行います。

軽自動車の場合

普通自動車の場合

QRコードの読取

読み取る車両の列をタップしてください

メーカー	トヨタ	トヨタ
車種	h-2-	h-2-
型式	M900A	M900A
エンジン	1KR-FE	1KR-VET
年式	'20.09~'21.09(R02.09~R03.09)	'20.09~'21.09(R02.09~R03.09)

③QR コードの読み込みが完了すると車両情報の候補が表示されるので、該当する車両情報を選択してください。

※選択したい車両のどこをタップしても選択が可能です。

診断レポート作成 Ver1.0.0

車両情報

車両番号 アE 130 第 0000	車台番号 Y0000000000	引継記録 全無000000
メーカー名 トヨタ	型式 5BA-M900A	車検完了日 *年1005#02#00日
車名 トヨタ	エンジン型式 1KR	

※

診断結果

システム: TCCS 診断日: 2021/11/08

故障コード	系統名
P00AF	VIN#-E 1 3 (A)-系統異常
P00B4	エンジン-水温センサー-系統High
P0102	エアフローセンサー-系統(Low)
P0107	圧力センサー-系統(Low)
P0113	吸気温度センサー-系統(High)

診断データ読み込み 作成データ読み込み 車検証QRコード読み込み 保存 印刷

④選択した車両情報が「車両情報」に表示されます。

※

型式で排ガス規制識別番号が反映されない場合あり。

例: 5BA-M900A(排ガス規制識別番号+メーカー記号)

上記のように手入力で追加を行ってください。

※スキャンツール補助金申請においては、

1. 車両診断日

2. 診断した車両の車両番号(ナンバー)又は車台番号

例: 水戸〇〇さ〇〇-〇〇(地域名・分類番号・平仮名等・一連指定番号)

3. 診断した車両の型式

例: 5BA-M900A(排ガス規制識別番号+メーカー記号)

4. 診断した車両においてDTC(故障コード)が検出された場合のDTC及び、その定義

が記載された診断データ(診断レポート)の提出が必須となっております。

3. 印刷

作成した診断レポートの印刷または PDF 保存を行います。


※印刷を行う際には、お客様がご利用のプリンタードライバーのインストールが必要です。

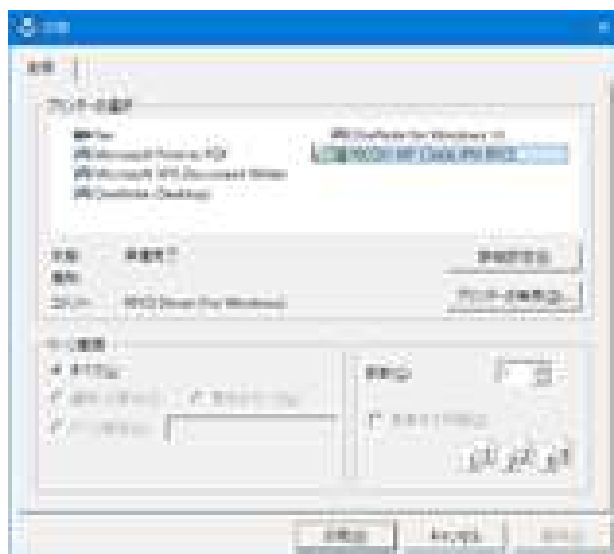


①メイン画面の **印刷** を選択します。
選択すると印刷プレビューが表示されます。

(1)印刷をする場合



②画面左上の印刷ボタン  を押してください。




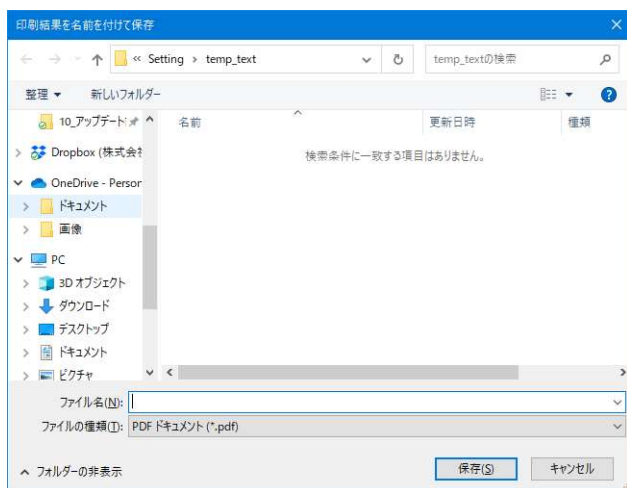
③プリンター選択画面が表示されるので、任意のプリンターを選択の上印刷をしてください。

(2)PDFに保存をする場合

※補助金申請用にPDFを保存される方はこちらから保存をお願いいたします。



④画面左上のPDF保存ボタンを押してください。



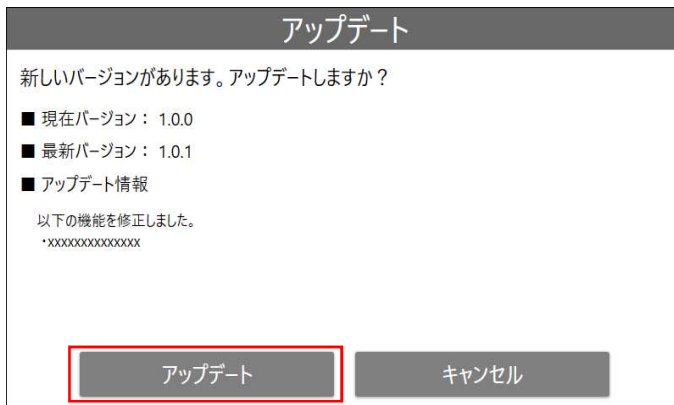
⑤保存先を選択するダイアログが表示されるので、任意の場所に保存してください。

アップデートについて

本アプリを起動時に最新版があるかどうかを自動でチェックします。

※最新版のチェックにはインターネットに接続されている必要があります。

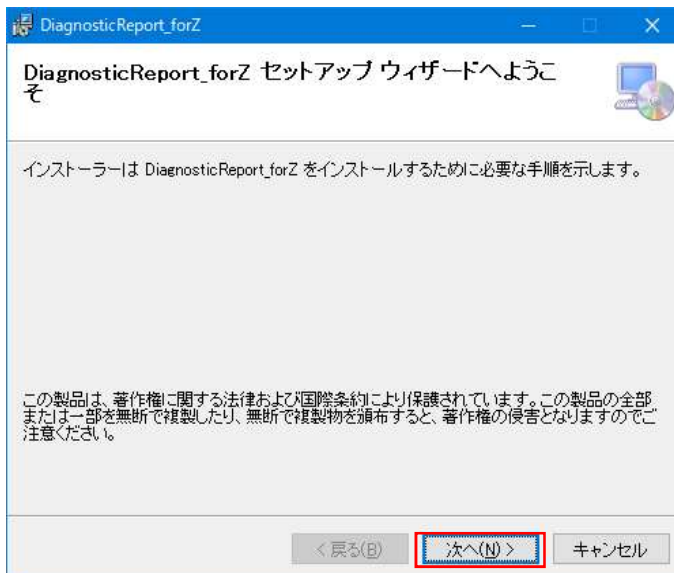
アップデート方法



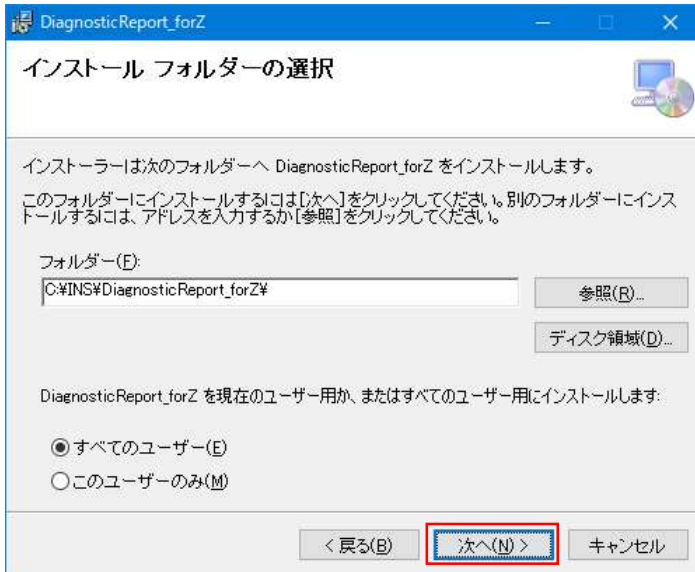
①アップデート通知画面の **アップデート** を選択します。



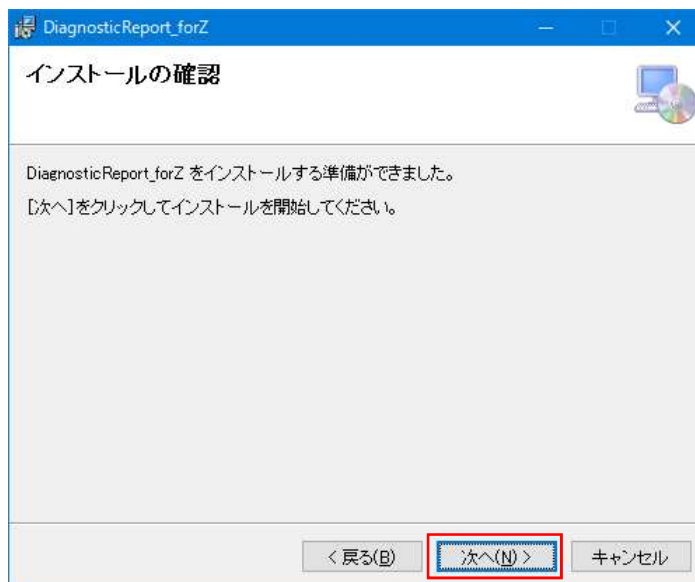
②左記画面が表示されるのでしばらくお待ちください。



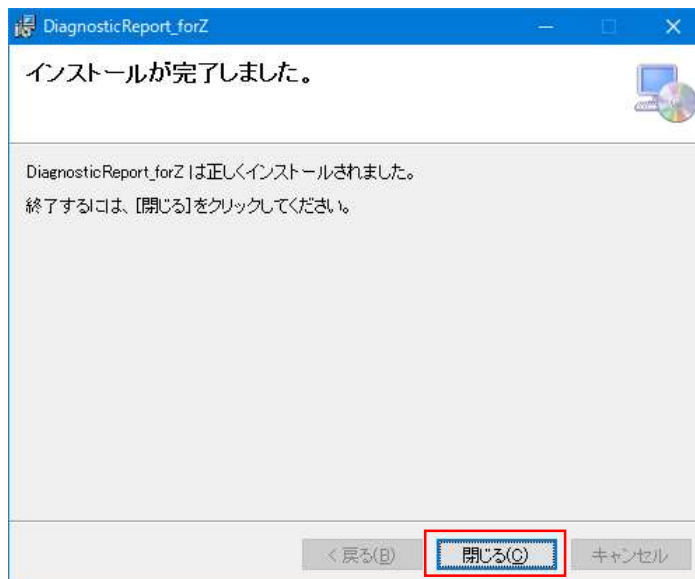
③セットアップウィザードが表示されるので「次へ」を選択します。



④インストールフォルダーの選択が表示されます。フォルダーは変更せずに「次へ」を選択します。



⑤インストールの確認をされるので「次へ」を選択します。



⑥インストールが完了したら「閉じる」を選択します。